

e ラーニング形式の自己学習を通して 情報処理を学ぶ学生の実態

——そのだインターネットキャンパスの学習後アンケートより——

垣 東 弘 一

1 はじめに

近年、ICT（情報通信技術 Information and Communication Technology）を用いた教育が、多くの大学において活発に行われている。私立大学情報教育協会によると、私立大学におけるコンピュータの整備状況は、コンピュータ1台あたりの学生数が、大学では平成17年度5.1人、平成20年度4.2人、短期大学では平成17、20年度とも3.5人となっており、コンピュータの普及が顕著であることを表している（回答数：大学283校、短大93校）⁽¹⁾。本学においては学科改編により平成22年度よりコンピュータの台数は減少したが、平成23年9月現在、本学はコンピュータ1台あたりの学生数が4.6人（大短あわせて学生数1740名、研究室を除く教育・研究用コンピュータ378台）となり、ほぼ全国の水準に近い状況にある。

学内LANを用いて教材を閲覧し自学学習を可能とする大学は増えつつある。この学内LANを利用して、教材、小テスト、コンテンツ等をウェブサイトに掲載し、自学自習を可能にするシステムを導入する大学は、全学・一部の学部・学科で使用可能な大学が、平成20年度77.0%（全学46.6%、一部の学部・学科30.4%）にのぼり、平成23年度（計画）では87.6%（全学57.8%、一部の学部・学科29.7%）という結果が出ている（回答数：平成20年度309校、平成23年度（計画）303校）。また、eラーニングを全学または一部学部・学科で実施可能な大学は、平成20年度42.9%、平成23年度（計画）では57.2%とあり、今後もeラーニングを活用する大学は増加する傾向にある。

本学では他大学に先立ち、1998年よりeラーニングを利用した教育を実践している。本学でのeラーニングはそのだインターネットキャンパスというLMS（学習支援システム Learning Management System）を導入し、学生をはじめ学習者はすでに1万人を超える実績をもつ。そのだインターネットキャンパスにおける教育は、2009年度大学・短期大学開講科目で68科目にのぼり、共通科目や専門科目などさまざまな学部・学科で有効に活用されている。

そのだインターネットキャンパスでの各科目は、ユニットという単位で学習を進めており、1ユニットは数時間で1つのテーマを学習することができるものとなっている。各ユニットでは学習目標を事前に確認し、その後、教材を閲覧しながら自己学習を進め、その過程で質問をし、課

題を提出し、テストに取り組むことになる。課題提出やテストについては教員が評価し、その学生が学習目標に達したと判断した場合は、教員がそのユニットの可否と得点を判定し、結果を学生に返すことになる。学生はその評価と教員コメントを確認し、自らの学びについてアンケート回答を通して振り返りを行い、そのユニットの学習を終えることになる。「1. 必修ユニットをすべて合格すること」、「2. 選択必修ユニットは必要ユニット数の合格があること」、「3. 各ユニットの合格得点の合計点が合格基準点を上回ること」の3条件をすべて満たすと、その科目は合格となる。

そのだインターネットキャンパスを利用したeラーニングにおける自己学習の定着傾向については、堀田⁽²⁾は自己学習の度合いが学習の経過と共に高まっていると述べている。これは、そのだインターネットキャンパス上で基礎情報教育を学習した学生に対し調査したもので、「Q1：このユニットのあなたの学習方法は？」について4つの選択肢、①先生の（前での）説明に沿って学習を進めた、②友達や先生に質問しながら一人で学習を進めた、③先生から概要を聞き、その後自分で教材を読み、学習した、④誰にも質問せずに教材のみで一人で学習を進めた、に重み付け（点数付加）をして2004年度5076名に調査した結果、学習者の自己学習の定着と推移結果より読み取ることができる（図1）。

園田学園女子大学短期大学部生活文化学科情報デザインコースでは、入学直後できるだけ早い時期に、情報に関する基礎的な知識や技能を修得させ、これに続く専門科目の学習をスムーズに進めるため、1年次1学期に基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ、応用情報処理Ⅰ・Ⅱを履修するカリキュラムとなっている。これらの科目（表1）はすべて、そのだインターネットキャンパス上において、ブレンディング（対面とeラーニングを組み合わせた教授法）の形式で学習を進める形式を取っている。

そこで、本学で取り組んでいる自ら学ぶことを大切にするeラーニング形式の自己学習は、学生にどのような形で学習を進めさせ、どのような成果が得られているのか。また、eラーニン

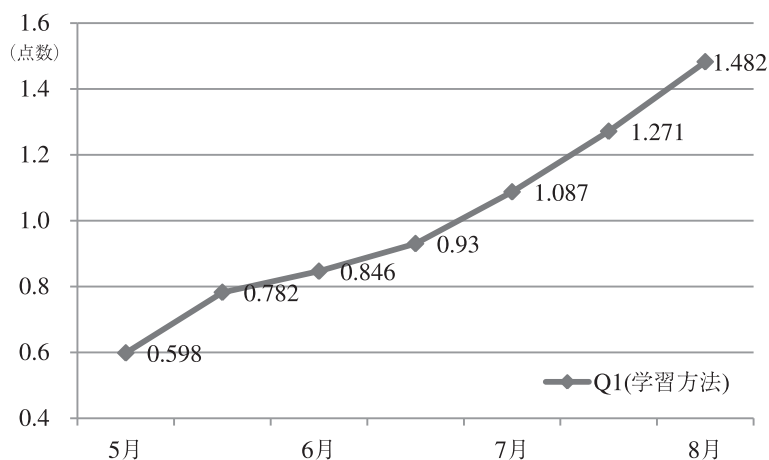


図1 自己学習の定着と時間推移

表1 情報デザインコースの情報処理ユニット一覧 (2011年度入学生)

基礎情報処理 I	基礎情報処理 II
U 01 オリエンテーション	U 08 マルチメディア作成技法
U 02 コンピュータの基本操作	U 21 ペインティングデザインに挑戦
U 03 電子掲示板でコミュニケーション	U 23 コンピュータミュージックの基礎
U 04 図形や文書の複写と貼り付け	U 30 ホームページの作成
U 05 プレゼンテーション (1)	U 37 コンピュータの購入方法
U 06 文書の編集とレイアウト	U 54 動きのあるホームページの作成
U 10 情報社会のしくみ	U 55 デジタルカメラの活用
U 11 情報倫理・コンピュータと健康	U 56 自作絵はがきで近況報告
U 13 電子メール入門	U 63 デジカメ写真で豆本づくり
U 14 プレゼンテーション (2)	
U 19 自分の環境を作ろう	
U 20 タイピングの達人になろう	
U 47 電子メールの応用	
U 51 インターネット探検	
応用情報処理 I	応用情報処理 II
U 09 自分のディスクを整理しよう	U 17 データベースの基礎
U 15 教育用言語 Logo の世界	U 18 表計算の基礎
U 16 クイズを作ろう (Visual Basic)	U 31 取材とミニ新聞の作成
U 26 Logo 言語によるリスト処理	U 34 システム思考入門
U 35 基礎的情報教育に関する調査	U 39 表計算の活用
U 40 3D グラフィックスの世界	U 48 表計算のマクロ
U 49 Visual Basic (2)	U 52 デジタルビデオ編集
U 53 お絵描きソフトで紙芝居	U 57 データ抽出 Access 入門

で学習し、成績がよい学生はどのような特徴を持っているのかについて、明らかにすることを目的として調査を行った。

2 研究の方法

調査対象は、2008、2009年度入学情報メディアコース、2010、2011年度入学情報デザインコース（生活文化学科情報メディアコースは2010年度より情報デザインコースに名称変更）の合計71名とした。

調査時期は各学生の入学年次7月に行った（2008年から2011年）。調査方法は、その日インターネットキャンパス上のアンケート機能を用い、コンピュータ上で回答させた。

調査内容は、自己学習の感想（学習方法のタイプ、印象、意欲、興味・関心）、自己学習の実際（授業時間外の学習日数・時間、教材の読み込み状況、学習過程の問題点、施設・設備）、他者との関係（アシスタントとの関係・親密さ、友人への質問、グループでの競争）、インターネットキャンパスからの情報の活用（お知らせ、友達のログオン状況、ユニット毎の合格者数、点数分布表、学習ログ、FAQ、教員へのメッセージ）、日常生活での情報社会とのかかわり（メール、携帯電話での写真撮影、デジタルカメラ、デジタルオーディオプレーヤー、ホームページ閲覧、コンピュータの必要性）、身についた能力（文書作成、キー入力、表計算、画像処理、入力装置操作、コンピュータミュージック、ビデオ編集、統計処理、ホームページ閲覧、コンピュータ制

御、ホームページ作成、マルチメディア作品作成、電子メール、3D-CG、プログラミング)について、主として順序のある選択肢(4段階)で問い、いくつかの設問では自由記述などで回答する方式で行った(資料1)。また、学生の応用情報処理Iの成績(得点)から成績の情報を得た。

分析方法は、統計ソフト SPSS ver 17.0 を利用し、各設問の単純集計、各設問間の相関分析(相関係数: Pearson の積率相関係数、有意差検定: 両側)を行った。

3 結果と考察

3.1 自己学習が合っている学生の特徴

3.1.1 結果

今回の調査で自己学習が合っていると感じている学生は、どのような特徴をもっているのかについて分析することにした。まず、問1「自己学習が合っている」については83.1%の学生が、「自己学習は大変合っている」、「自己学習は合っている」と回答している(表2)。

質問1「この授業で実施している『自己学習』という方法は皆さんに合っていましたか」という質問に関して、5%水準で有意に相関が認められた項目は、問4「自己学習が大学の授業らしく新鮮だ」、問5「自己学習は焦ることなくマイペースで学習できる」、問6「興味ある課題を選べて楽しい」、問19「TA(ティーチングアシスタント)にあまり質問しない」、問22「TAに親

表2 問1「自己学習が合っている」

	選択肢	度数	パーセント	累積パーセント
1	大変合っている	11	15.5	15.5
2	合っている	48	67.6	83.1
3	あまり合っていない	11	15.5	98.6
4	まったく合っていない	1	1.4	100.0
	合計	71	100.0	100.0

表3 問1「自己学習が合っている」と相関がある項目の Pearson の相関係数と有意水準

No	質問内容	相関係数	有意水準(両側)	N
問4	自己学習が大学の授業らしく新鮮だ	.438**	.000	71
問5	自己学習は焦ることなくマイペースで学習できる	.402**	.001	71
問6	興味ある課題を選べて楽しい	.479**	.000	71
問19	TAによく質問する	-.271*	.022	71
問22	TAに親しみを感じる	.258*	.030	71
問24	友達によく質問する	-.276*	.020	71
問31	学習ログをよく読む	-.245*	.039	71
問41	就職を考えるとコンピュータの活用法を学ぶ必要がある	.356**	.002	71
問44	授業を終えてキー入力のスピードが上がった	.322**	.006	71
問45	授業を終えて表計算の作成ができるようになった	.484**	.000	71
問50	PCでの統計処理ができるようになった	.276*	.020	71

**相関係数は1%水準で有意(両側)である

*相関係数は5%水準で有意(両側)である

しみを感じる」、問 24「友達にあまり質問しない」、問 31「学習ログはあまり読まない」、問 41「就職を考えるとコンピュータの活用法を学ぶ必要がある」、問 44「授業を終えてキー入力のスPEEDが上がった」、問 45「授業を終えて表計算の作成ができるようになった」、問 50「PCでの統計処理ができるようになった」の 11 項目があげられる（表 3）。

3.1.2 考察

自己学習が合っていることと、相関がある各項目について考察を行う。

問 4「自己学習は大学の授業らしく新鮮だ」と相関が認められる点からは、大学入学までの教育、つまり小学校・中学校・高校において、自ら学習に取り組む意欲が少なければ学習を進めることができない自己学習という学習方法が、授業時間の一部で行われていたかもしれないが、学習単元すべてについておこなう機会が少なかったと考えられる。自己学習で学んだ大学生は自ら学ぶという方法に戸惑いながらも、大学らしい新鮮さを感じていることがうかがえる。

問 5「自己学習は焦ることなくマイペースで学習できる」と相関が認められる点からは、一般の対面式の教授法では時間内に教員の考えたペース配分で学習を進めるため、学生の理解が不完全であったり、学生が深めて理解したい場合があっても教員のペースで学習を進めなければならないことに対して、自己学習では自分自身の理解するスピードで本人が納得して学習を進めることができているといえる。自己学習の場合単位時間内での学習量は少なくなる可能性があるが、学習についての理解度とその満足度は高いと思われる。

問 6「興味ある課題を選んで楽しい」と相関が認められる点からは、学習するユニットを自分の学びたい内容で選ぶことができ、意欲的に学習を進められることが考えられる。しかしこれは、指導者がどのユニットを学習させることが教育目標にあっているかを見極めて、適切に設定と指導を行わないと、単に「楽しい」、「易しい」だけでユニットを選択してしまう危険性もある。

問 19「TA にあまりを質問しない」と相関が認められる点からは、自己学習の考え方が学生によく理解されている結果、「質問することは良くないことだ」という気持ちから簡単な質問をあまりしていなかったということや、ユニット教材が学生の学習レベルに合っていて特に質問をする必要がなかったと考えることもできる。このことは、問 24「友達にあまり質問しない」と相関が認められることとも同様であると考えられる。

しかし、問 22「TA に親しみを感じる」と相関が認められるので、学生は学習する中で本当にわからない点に出会ったときに TA に質問をすることで、問題解決することができ、TA を頼りにしており、かつ親しみを感じていることがうかがえる。

問 31「学習ログはあまり読まない」と相関が認められる点については、自己学習が合っている学生の特性として、あまり学習の振り返りを大切にしない特徴があると考えられる。

問 41「就職を考えるとコンピュータの活用法を学ぶ必要がある」と相関が認められる点については、自己学習が合っている学生は、将来の就職した際に職場で情報処理の技術を使う場面が理解・想像ができ、必要であると考えているのであろう。

また自己学習が合っているという項目と、問 44「授業を終えてキー入力のスピードが上がった」、問 45「授業を終えて表計算の作成ができるようになった」、問 50「PC での統計処理ができるようになった」と相関が認められる点より、自己学習が合っている学生は、キー入力というパソコン操作の基礎と、コンピュータを用いたデータ処理について学習成果が表れていると思われる。

以上のことから、自己学習が合っている学生は、他者の学習支援にあまり依然することなく、自分のペースで学ぶことができ、表計算や統計処理など学生が苦手と思う分野について満足いく学習をすることができていると考えることができる。

3.2 学習成績が高い学生の特徴

3.2.1 結果

科目の成績は、配点が定めているユニット内の課題の成果によって授業担当者が評価を行い、各ユニットの得点合計がその科目の得点として定めている（表 4）。

この成績を使い、今回の調査で成績が高かった学生は、どのような特徴があるのかについて分析することにした。

科目得点と 5% 水準で有意に相関が認められた内容は、問 9「情報処理学習のために、授業時間外に実習室を利用する回数は少ない」、問 24「友達によく質問する」、問 38「デジタルカメラをよく使用する」、問 50「パソコンでの統計処理が不得意」、問 56「3D-CG で立体を作成するのが不得手」の 5 項目があげられる（表 5）。

表 4 学習成績

得点	度数	パーセント	累積パーセント
0～29	0	0.0	0.0
30～34	2	2.8	2.8
35～39	3	4.2	7.0
40～44	2	2.8	9.9
45～49	24	33.8	43.7
50～54	8	11.3	54.9
55～60	32	45.1	100.0
合計	71	100.0	100.0

表 5 学習成績と相関がある項目の Pearson の相関係数と有意水準

No	質問内容	相関係数	有意水準（両側）	N
問 9	情報処理学習のために授業時間外に実習室を利用する回数が多い	-.323**	.006	71
問 24	友達によく質問する	.234*	.050	71
問 38	デジタルカメラをよく使用する	.326**	.006	71
問 50	PC での統計処理ができるようになった	-.280*	.018	71
問 56	3D-CG で立体を作成するのができる	-.307**	.009	71

**相関係数は 1% 水準で有意（両側）である

*相関係数は 5% 水準で有意（両側）である

3.2.2 考察

学習成績が高いことと、相関がある各項目について考察を行う。

問9「情報処理学習のために、授業時間外に実習室を利用する回数が多い」と負の相関が認められる点からは、高得点を取る学生は効率よく学習ができる学習姿勢を持ち合わせていると考えられる。しかし、短い時間で多くのユニットを学習し高得点を取っていく姿勢は、学習の過程で疑問やより学習を深めたいと思った場合、最終課題と関係のない内容であれば、あまり考えたり調べたりすることはせず、速く課題提出まで行き着くことが重要であるという姿勢であると考えられることもできる。

問24「友達によく質問する」の項目が、「学習成績が高い」という項目と正の相関があったことに対して、「自己学習が合っている」という項目とは負の相関が認められるという点是对照的である。成績高得点者は、学習を進める中で疑問点が発生すると、まわりで学習している学生に質問をして、ヒントまたは回答・解答をもらって効率よく学習を進めていることがわかる。筆者は学習過程で疑問点が出たときにそれを克服する際に学習は確かになる（学習が身につく）と考えているが、成績高得点者はこのチャンスを失っている可能性もある。

また、問50「PCでの統計処理ができるようになった」についても、「学習成績が高い」という項目と負の相関があったことに対して（表5）、「自己学習が合っている」（表3）という項目とは正の相関が認められるという点是对照的である。学生にとって統計処理は一般的に難しいとらえられやすいが、自己学習が合っている学生にはできている感覚があり、成績上位者にはできていない感覚がある。内容が難しい教材を学習するためには、じっくりと自分で考える姿勢が大切であると考えられる。

また、成績が高いという項目と、問38「デジタルカメラをよく使用する」、問56「3D-CGで立体を作成するのが不得手」と相関が認められる点からは、問50と同様、デジカメの操作など簡単な内容は成績高得点者には取り組みやすいが、難易度の高い3D-CG制作のようなユニットは取り組みにくいということが明らかになった。

以上のことから、成績高得点者は効率よく学習を進めるため、疑問点があれば他者に依存して学習を進め、あまり難しいユニットの学習は十分にできているとはいいい難い状況が見受けられる。

3.3 自己学習が合っている学生と成績が高い学生との関係

3.3.1 結果

今回の調査では、問1「自己学習が合っている」と「科目成績」との関係に有意な相関を認めることはできなかった（表6）。

表6 「自己学習が合っている」と「成績が高い」との相関

No	質問内容	相関係数	有意水準（両側）	N
		-1.62	.177	71

3.3.2 考察

この点について考察を行うと、自己学習を推奨する本学の基礎情報教育において、評価基準が自己学習に取り組んだ成果として評価されていないことを表している。筆者は自己学習を通して学生に情報についてのさまざまな確かな力を身につけてもらいたいと考えているが、自己学習でこつこつと学習を進めることと、その科目の成果（成績）は一致するものではないということがわかった。自ら学ぶという姿勢は大学生に身につけてもらいたい能力の一つであるが、これを科目の評価の中に埋め込むことが十分できていない。

4 ま と め

そのだインターネットキャンパスという学習環境下において、eラーニング形式による自己学習を通して情報処理を学ぶ学生は、自己学習を理解し、学習活動に取り組んでいる。自己学習が合っていると感じている学生は、TA や SA への質問を頻繁に行わず、授業時間以外にも授業内容の理解のために自ら学習をしていることがわかった。そして、この取り組みによって統計処理など難しい分野の学習もできるようになったと感じている。しかし残念なことに、自己学習が合っていると感じている学生の成績は必ずしも高いわけではないことも明らかになった。

学習成績の高い学生は、限られた時間の中で効率よく学習を進めていることがわかった。その学習過程では友人に比較的多くの質問をして教えてもらいながらユニット学習を進めていることもわかった。また、このように学習した学生は比較的難しい分野のユニットについてはあまりできていないと感じている。

「自ら学ぶ」という考えは、社会で生きるうえで基礎的な能力としてだれもが身につけるべきと考えられている。今回、自己学習が合っていることと、学習成績との相関を見出すことができなかった点から、今後の学習評価のあり方や学生への指導方法などに検討すべき点があることもわかった。

今後はさらに研究を進め、eラーニングによるよりよい学習とは何かについてについて明らかにしていきたいと考えている。

参考文献

- (1) 社団法人私立大学情報教育協会，平成 20 年度版私立大学情報環境白書，2009. 11. 25, 14-15, 87.
- (2) 堀田博，山本恒，植村唯邦，垣東弘一，小田桐良一，宇治典貞，吉崎弘一，大久保暁正，高橋朋子，福嶋昭治，五島邦治，原克彦，伊藤剛和，植野雅之，1 万人の既習者を生み出した「そのだインターネットキャンパス」の取り組み，教育システム情報学会，2005. 3. 19, 13.

文献

吉崎弘一，堀田博史，内垣内貴之，山本恒，e-Learning による自己学習を定着させるための要因の分析，情報コミュニケーション学会誌 Vol.3 No.2 2007, 2007. 12. 31, 4-10.

[かきとう ひろかず 教育工学]

[資料1] そのだインターネットキャンパスの学習後アンケート

以下のアンケートに答えて下さい。

質問 1. ■1■ 自己学習について

この授業で実施している『自己学習』という学習方法は、皆さんに合っていましたか？

- (1) 大変合っていた
- (2) 合っていた
- (3) あまり合っていない
- (4) まったく合っていない

質問 2. 質問1で「(3)あまり合っていない」「(4)まったく合っていない」と答えた人は、その理由に該当するものを選んでください。(複数回答可) また「(1)大変合っていた」「(2)合っていた」と答えた人は、解答欄の8を選択してください。

- (1) 一人で学習する習慣がついていない
- (2) 自分自身の意志が弱かった
- (3) 教材がわかりにくい
- (4) 学習方法が理解できなかった
- (5) コンピュータそのものが苦手である
- (6) 何をしてものかわからなかった
- (7) その他(自由記述)
- (8) 該当しない

質問 3. 前問で「その他」を選んだ人は記入してください。

「その他」を選んでいない人は、空白(全角スペース)を人力してください。

質問 4. この授業で実施している『自己学習』は、「大学の授業らしくて、新鮮に取り組める」と感じましたか。該当するものを選んでください。

- (1) 大変そう思う
- (2) そう思う
- (3) あまりそう思わない
- (4) まったくそう思わない

質問 5. この授業で実施している『自己学習』は、「マイペースで学習できるので、焦らず課題が解ける」と感じましたか。該当するものを選んでください。

- (1) 大変そう思う
- (2) そう思う
- (3) あまりそう思わない
- (4) まったくそう思わない

質問 6. この授業で実施している『自己学習』は、「興味のある課題(ユニット)が選べて、授業が楽しい」と感じましたか。該当するものを選んでください。

- (1) 大変そう思う
- (2) そう思う
- (3) あまりそう思わない
- (4) まったくそう思わない

質問 7. ■2■ 教材・実習室の利用について

基礎情報処理(または情報スキルアップ)の授業内容で、空き時間にコンピュータ実習室を利用したことがあれば、その内容に該当するものを選んでください。(複数回答可)。

- (1) 先生からの評価の確認
- (2) お知らせなどの確認
- (3) 課題の再提出
- (4) 次のユニットの予習
- (5) 合格したユニットの復習
- (6) その他(自由記述)
- (7) 利用していない

質問 8. 前問で「その他」を選んだ人は記入してください。

「その他」を選んでいない人は、空白(全角スペース)を人力してください。

質問 9. 基礎情報処理(または情報スキルアップ)の授業内容で、空き時間にコンピュータ実習室を利用する頻度(平均回数)はどの程度でしたか？

- (1) 週3回以上利用した
- (2) 週1～2回程度利用した
- (3) 1ヶ月に1～2回程度利用した

(4) 4～7月で1～2回程度利用した

(5) まったく利用しなかった

質問 10. 基礎情報処理(または情報スキルアップ)の授業内容で、空き時間にコンピュータ実習室を利用する頻度(1回平均で〇〇分)はどの程度でしたか？

質問 11. 基礎情報処理(または情報スキルアップ)の授業内容以外で、空き時間にコンピュータ実習室を利用したことがあれば、その内容に該当するものを選んでください。(複数回答可)。

- (1) この授業以外の課題
- (2) メールのチェック
- (3) ホームページを見る
- (4) ゲームをする
- (5) 利用していない
- (6) その他(自由記述)

質問 12. 前問で「その他」を選んだ人は記入してください。

「その他」を選んでいない人は、空白(全角スペース)を人力してください。

質問 13. 基礎情報処理(または情報スキルアップ)の授業内容以外で、空き時間にコンピュータ実習室を利用する頻度(平均回数)はどの程度でしたか？

- (1) 週3回以上利用した
- (2) 週1～2回程度利用した
- (3) 1ヶ月に1～2回程度利用した
- (4) 4～7月で1～2回程度利用した
- (5) まったく利用しなかった

質問 14. 基礎情報処理(または情報スキルアップ)の授業内容以外で、空き時間にコンピュータ実習室を利用する頻度(1回平均で〇〇分)はどの程度でしたか？

質問 15. 各ユニットの教材を、平均してどの程度読んで、学習をしていますか？

- (1) すべてのページを1冊に読む
- (2) すべてのページをざっと読む
- (3) 知らない内容が書かれているページだけを読む
- (4) 課題を見て必要なページだけを読む
- (5) ほとんど読まない

質問 16. ユニット教材を読んでいて、困ったと感じたことがあるものを選んでください。(複数回答可)

- (1) ユニット教材と操作するソフトウェアをならべて見る場合に画面が狭くなる
- (2) ユニット教材を画面で見るとは読めるので、印刷する必要がある
- (3) ユニット教材を画面で見ていると、たまにどこまで読んだかわからなくなる
- (4) ユニット教材に、線を引いたり書き込んだりできない
- (5) 特に困ったことはない
- (6) その他(自由記述)

質問 17. 前問で「その他」を選んだ人は記入してください。

「その他」を選んでいない人は、空白(全角スペース)を人力してください。

質問 18. コンピュータ実習室(情報教育センター)の施設に関することで、要望があれば書いてください。(自由記述)
(特に要望がなければ「なし」と書いてください)

質問 19. ■3■ アシスタントや友達からの支援について
この授業の補助として、(ティーチング)アシスタントが数名、学生の質問等に対応しています。

1回の授業で、アシスタントに平均してどの程度の質問をしましたか？

- (1) 5回以上の質問をした
- (2) 3～4回程度の質問をした
- (3) 1～2回程度の質問をした
- (4) ほとんど質問しなかった

質問 20. この授業で、あなたはアシスタントにどのような内容の質問をしましたか？(複数回答可)

- (1) 課題(ユニット)の学習内容
- (2) 課題(ユニット)で使用するソフトウェアの基本操作
- (3) インターネットキャンパスの使い方(課題提出方法など)

- (4) ユニットとは関係のない操作
- (5) エラー表示について
- (6) その他 (自由記述)
- (7) ほとんど質問しなかった

質問 21. 前問で「その他」を選んだ人は記入してください。「その他」を選んでいない人は、空白(全角スペース)を入力してください。

質問 22. この授業を通じて、アシスタントに対してどの程度の親しみを感じていますか？

- (1) 大変親しみを感じている
- (2) 親しみを感じている
- (3) あまり親しみを感じていない
- (4) まったく親しみを感じていない

質問 23. アシスタントについて、何か気づいたことがあったら書いてください。(特になければ「なし」と書いてください)

質問 24. 1回の授業で、まわりの友達に平均してどの程度の質問をしましたか？

- (1) 5回以上の質問をした
- (2) 3~4回程の質問をした
- (3) 1~2回程の質問をした
- (4) ほとんど質問しなかった

質問 25. この授業であなたは、2~3人以上の友達のグループで互いに競い、協力し合いながら、課題(ユニット)を解きましたか？

- (1) 大変よく友達と競い協力した
- (2) 少し友達と競い協力した
- (3) ほとんど友達と競い協力しなかった
- (4) まったく友達と競い協力しなかった

質問 26. ■4■ インターネットキャンパスの操作

インターネットキャンパスを利用している時、合否以外に「合格時の教員からのコメント」は、どの程度読んでいますか？

- (1) 毎回読む
- (2) 2回ログオンすると1回は読む
- (3) 1ヶ月に1回程読む
- (4) まったく読まない

質問 27. インターネットキャンパスを利用している時、合否以外に「お知らせ」は、どの程度読んでいますか？

- (1) 毎回読む
- (2) 2回ログオンすると1回は読む
- (3) 1ヶ月に1回程読む
- (4) まったく読まない または 「お知らせ」の存在を知らない

質問 28. インターネットキャンパスを利用している時、合否以外に「友達のログオン状況」は、どの程度読んでいますか？

- (1) 毎回読む
- (2) 2回ログオンすると1回は読む
- (3) 1ヶ月に1回程読む
- (4) まったく読まない または 「友達のログオン状況」の存在を知らない

質問 29. インターネットキャンパスを利用している時、合否以外に「ユニット毎の合格者数」は、どの程度読んでいますか？

- (1) 毎回読む
- (2) 2回ログオンすると1回は読む
- (3) 1ヶ月に1回程読む
- (4) まったく読まない または 「ユニット毎の合格者数」の存在を知らない

質問 30. インターネットキャンパスを利用している時、合否以外に「点数分布表」は、どの程度読んでいますか？

- (1) 毎回読む
- (2) 2回ログオンすると1回は読む
- (3) 1ヶ月に1回程読む
- (4) まったく読まない または 「点数分布表」の存在を知らない

質問 31. インターネットキャンパスを利用している時、合否以外に「学習ログ」は、どの程度読んでいますか？

- (1) 毎回読む
- (2) 2回ログオンすると1回は読む
- (3) 1ヶ月に1回程読む
- (4) まったく読まない または 「学習ログ」の存在を知らない

質問 32. インターネットキャンパスを利用している時、合否以外に「FAQ」は、どの程度読んでいますか？

- (1) 毎回読む
- (2) 2回ログオンすると1回は読む
- (3) 1ヶ月に1回程読む
- (4) まったく読まない または 「FAQ」の存在を知らない

質問 33. 評価依頼をするときの教員へのメッセージ欄に、おおよそどのようなことを書いていますか？

- (1) 評価依頼のお願い等のメッセージ
- (2) ユニットの難易度について
- (3) 昨日や今日にあった出来事について
- (4) これからの予定について
- (5) その他 (自由記述)

質問 34. 前問で「その他」を選んだ人は記入してください。「その他」を選んでいない人は、空白(全角スペース)を入力してください。

質問 35. 評価依頼をするときの教員へのメッセージ欄に書く文字数は、1回平均どの程度ですか？

- (1) 100文字以上
- (2) 50~100文字以内
- (3) 10~50文字以内
- (4) 10文字以内
- (5) まったく書かない

質問 36. ■5■ 情報に関する知識

あなたは、1日平均して、携帯電話のメールをどの程度利用しますか？

- (1) 1日20通以上
- (2) 1日20通未満
- (3) 1日10通未満
- (4) 1日1~2通
- (5) ほとんど送らない または 全く送らない

質問 37. あなたは、1日平均して、携帯電話で写真をどの程度撮りますか？

- (1) 1日10回以上
- (2) 1日10回未満
- (3) 1日5回未満
- (4) ほとんど利用しない または 全く利用しない

質問 38. あなたは、自分のデジタルカメラを1週間平均すると、どの程度利用しますか？

- (1) 1週間の毎日
- (2) 1週間に4~5日
- (3) 1週間に2~3日
- (4) 1週間に1日
- (5) ほとんど利用しない または 全く利用しない

質問 39. あなたは、携帯で音楽を聴ける装置(iPodなど)を1週間平均すると、どの程度利用しますか？

- (1) 1週間の毎日
- (2) 1週間に4~5日
- (3) 1週間に2~3日
- (4) 1週間に1日
- (5) ほとんど利用しない または 全く利用しない

質問 40. あなたは、大学や自宅で、インターネットでいろいろなホームページを1週間平均すると、どの程度見ますか？

- (1) 1週間の毎日
- (2) 1週間に4~5日
- (3) 1週間に2~3日
- (4) 1週間に1日
- (5) ほとんど利用しない または 全く利用しない

質問 41. あなたは、今後の就職のことを考えると、コンピュータの活用が学が必要かと思いませんか？

- (1) 大変必要と感じる
- (2) 必要と感じる
- (3) あまり必要とは思えない
- (4) まったく必要とは思えない

質問 42. 大学の授業で基礎情報処理(または情報スキルアップ)以外で、コンピュータ関連の授業科目があれば、学んでみたいですか？

- (1) 大変学んでみたい

- (2) 学んでみたい
- (3) あまり学びたいとは思わない
- (4) まったく学びたいとは思わない

質問 43. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- a. ワードプロで文書・案内文を作成する
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 44. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- b. 文字入力のスปีドアップ
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 45. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- c. 表計算ソフトで簡単な表を作る
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 46. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- d. 絵柄のデザイン等、自在にお絵描きする
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 47. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- e. デジカメやスキャナーで写真・絵の加工
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 48. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- f. コンピュータ・ミュージックで作曲する
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 49. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- g. パソコンでビデオ編集をする
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 50. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- h. パソコンで統計処理ができるようになる
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 51. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- i. ホームページ(Web)を自由自在に見る
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 52. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- j. コンピュータ制御の動くおもちゃをつくる
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 53. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- k. ホームページ(Web)を作って発信する
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 54. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- l. 音入りの塩紙芝居をつくる
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 55. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- m. 電子メールの送受信ができる
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 56. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- n. 3Dグラフィックスで立体画像をつくる
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 57. この授業を終えて、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。該当するものを選んでください。

- o. 簡単な処理ならプログラムが組める
- (1) よくできる
 - (2) できる
 - (3) あまりできない
 - (4) まったくできない

質問 58. この授業を終えて、上記質問（問43～57）以外で、自分自身にどのような力がどの程度付いたでしょうか。具体的に記述してください。

質問 59. 授業の担当教員に対して「こうしてほしかった」という要望があれば書いてください。（※※必要があれば「なし」と書いてください）

質問 60. 後輩たちに、自己学習を進めるにあたって気をつけることがらを1つ記述してください。（100字程度）